

けんぱくものしりシート

しょうぎ 将棋

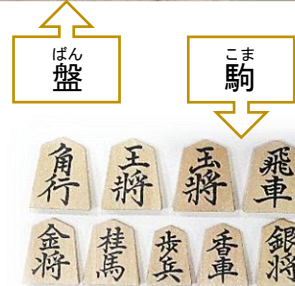


みなさんは将棋をしたことがありますか？
将棋は「盤」の上でおたがい順番に「駒」を動かして、先に相手の「玉将（王将）」の駒を取った方が勝ちとなるゲームです。盤と駒を使って行うボードゲームは世界中にありますが、日本の将棋は約2,300年前の古代インドの「チャトランガ」というボードゲームがもとになったといわれています。



もともになったといわれているゲームがあるんだね。

日本にはいつ伝わってきたのかな？



はっきりわかってはいませんが、おそくとも11世紀ごろまでには伝わっていたと考えられます。岩手県でも中尊寺金剛院跡・志羅山遺跡・柳之御所遺跡といった平泉町内にある遺跡から12世紀の将棋の駒が見つかっているんですよ。また近年では2023年に岩手県出身者としては初めてのプロ棋士が誕生し話題となりました！



◆将棋のなかま◆

ヨーロッパを中心に行われている「チェス」も将棋と同じくチャトランガがもとになったとされるゲームです。

相手の駒を取りながら「キング（王）」を追いつめていくところや、駒の種類ごとに動かし方が決まっているところなど似ている部分もありますが、将棋とちがって取った駒を自分の駒として使うことはできません。





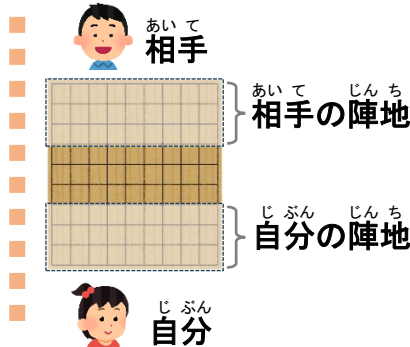
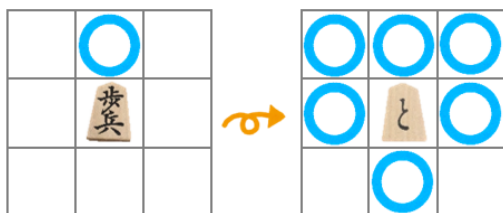
将棋の駒は全部で40枚。8種類の駒があり、それぞれ動かせる方向や一度に何マス動かせるかなどの違いがあります。

さらに駒の中には相手の陣地に入ると裏返し、別の動きができるようになるものがあります。この状態のことを「成り」といい、成るかどうかは自由に決められます。

※相手の陣地の中を動いたときや出るときにも成ることができるよ！

【例】「歩兵」という駒が成ると

「と金（と）」に変わります。



将棋にはほかにも色々な決まりごとがあります。



※○は駒を動かせる場所を表しています。

◆酔象と太子◆ 今のようなルールになる前には、現在より盤のマス
の数や、駒の種類や数が多いことがありました。かつて使われていた
駒のひとつ、「酔象」は成ると「太子」に変わり、玉将（王将）が取
られても太子を代わりにして勝負を続けることができたそうです。



◆その他の遊び方 ～将棋くずし～◆

- 駒を箱に入れ、箱を将棋盤の上に裏返して置き、箱を持ち上げて駒を山の形にする
- じゃんけんで勝った人から順番に、駒を1本の指で盤の外まで運んでいく（右の写真）。
※音を鳴らさずに運べたらその駒をもらえます。
※音が鳴ってしまったときは、動かした駒はそのままにして次の人の順番になります。
- 盤の上の駒がなくなるまでくり返し、最後に一番多くの駒を持っていた人が勝ち。



駒の種類ごとに点数を付けるなど、遊ぶ人同士でルールを決めても楽しいですよ！



引用・参考 日本将棋連盟 <https://www.shogi.or.jp> (参照 2025/11/03) / 村田雄哉 (2024)「テーマ展 迎る～岩手の囲碁将棋～」岩手県立博物館だより 183:4-5 他

- 「けんぱくものしりシート」の内容は発行当時のものです。
- 「けんぱくものしりシート」は解説員が執筆しております。



モッチャン



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214

岩手県立博物館

検索

HPIにてバックナンバー公開中！

将棋

2025年12月発行

■ 参考文献

- ・ 池内了・羽豆成二・深谷圭助・山田卓三（監）（2011）『小学館こども大百科キッズペディア』株式会社小学館
- ・ 中原誠（監）（2006）『「将棋」で脳をきたえよう①将棋って、どんなゲームなの？』株式会社理論社
- ・ 日本将棋連盟 <https://www.shogi.or.jp>（参照 2025/11/03）
- ・ 村瀬信也（監）（2018）『しらべてみよう・やってみよう 将棋のすべて2 将棋うんちく王になろう』株式会社岩崎書店
- ・ 村田雄哉（2024）「テーマ展 辿る～岩手の囲碁将棋～」岩手県立博物館だより 183：4-5